

⑤6 主要地方道いわき上三坂小野線 小名浜道路整備事業

受賞機関

福島県 いわき建設事務所
東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所
いわき市

キーワード 広域ネットワークの強化、復興・再生、
観光・産業の拠点化支援、緊急輸送道路

全建賞審査委員会の評価ポイント

ふくしま復興再生道路として重要港湾小名浜港と常磐自動車道を結ぶ延長約8kmの自動車専用道路を整備し、所要時間を約30分から13分に短縮するとともに、供用中の高速道路を跨ぐ橋梁には多軸式特殊台車による一括架設工法を採用し、供用路線への影響を最小限に抑え、YouTube等を活用した広報にも努めた点が評価された。

1. はじめに

小名浜道路は、福島県いわき市の重要港湾小名浜港と常磐自動車道を直結する延長約8kmの自動車専用道路である。この道路は、東日本大震災からの復興を支援する「ふくしま復興再生道路」に位置づけられ、事業が推進された。

小名浜港周辺には、様々な企業が集積し、水族館、商業施設、観光交流施設等が立地している。こうした背景から、物流ネットワークの強化による地域の活性化や大規模災害時における緊急輸送経路の確保が期待されている。



位置図

2. 事業の概要

小名浜道路は、いわき小名浜IC等の4つのICを備えている。主要構造物は、橋梁9か所及びBOXカルバート1か所であり、道路構造は2車線、幅員7.0m（最大13.5m）、設計速度80km/hである。整備に当たっては常磐自動車道を含む一部区間において、福島県と東日本高速道路株式会社が協定を締結し、それぞれの役割分担のもと緊密に連携して工事を進めた。

特に、供用中の高速道路を跨ぐ橋梁の架設では、通行止めの影響を最小限に抑えるため、多軸式特殊台車による一括架設工法を採用した。

広報面では、YouTube等を活用し、幅広い世代に情報発信を行うとともに、開通前には地元のいわき市の主導により開通プレイベントを開催し、地域一体となってPRに取り組んだ。



多軸式特殊台車による一括架設



開通プレイベント

3. 事業の成果

令和7年8月7日に小名浜道路が開通したことで、高速道路から小名浜港周辺までの所要時間が約30分から13分に大幅に短縮され、物流の効率化等に寄与している。物流事業者からは、所要時間の短縮により、1日当たりの運送回数が増加したとの声が寄せられ、周辺では新たな物流拠点の整備等が進んでいる。

また、小名浜港周辺では、観光施設の利用客数が前年より増加し、小名浜道路を利用する新たな高速バスの運行が開始されるなど、観光振興にも寄与している。

さらに、救急搬送時間の短縮等により、救命率の向上や傷病者の負担軽減等の医療面での効果も期待されている。



小名浜道路開通式（令和7年8月7日）

4. おわりに

小名浜道路の開通は、地域に幅広い整備効果をもたらしつつある。今後も安全で快適な道路環境を保ちながら、多くの方々に利用していただくことで、地域の持続的な発展に貢献できるよう、利活用を促進していく。

賛助会員 福浜大一建設(株)、(株)三崎組、三浦電気工事(株)、
(株)横河ブリッジ、五洋建設(株)、世紀東急工業(株)、
(株)東コンサルタント、(株)中山組、岩電機工事(株)、日栄地質測量設計(株)